

『 統合失調症の再入院要因に関する研究 : コメディカルの関与 』

《対象者》

2015年10月1日～2017年3月31日に長浜赤十字病院の精神科病棟を退院した統合失調症、統合失調感情障害（非定型精神病）、急性一過性精神病性障害の患者。

【調査協力をお願い】

当院では2015年10月1日～2017年3月31日の期間に当院精神科病棟を退院された上記対象患者さんについて、以下のとおり調査を行います。この調査は対象患者さんの臨床情報を調査する研究で、患者さん個人から直接の同意はいただきず、調査実施に関するポスター、インターネットへの掲示によるお知らせを持って研究に同意をいただいたものとしします。皆さま方におかれましては、本研究・調査の主旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本研究・調査への参加を希望されない場合や研究調査に関するご質問等は下記の問い合わせ先までご連絡をお願い申し上げます。

(1) 調査の概要

研究の題名 : 統合失調症の再入院要因に関する研究 : コメディカルの関与

対象病名 : 統合失調症、統合失調感情障害（非定型精神病）、急性一過性精神病性障害

情報収集期間 : 2015年10月1日～2019年3月31日

研究期間 : 承認日～2020年10月

研究責任者 : 西嶋 長

(2) 調査の意義・目的

コメディカルの関わりを中心として、統合失調症患者の通院治療の継続（再入院しないこと）に影響する要因を明細化することを目的とする。

(3) 調査の方法

退院後2年以内の再入院をアウトカムとしてその関連要因〔①性別、②年齢、③高等教育（4年制大学以上の卒業）歴、④退院後の居住形態（家族と同居、単身生活、施設入所）、⑤直前の入院形態〔任意入院または強制入院（措置入院、医療保護入院、応急入院）〕、⑥直前の入院期間、⑦主診断、⑧直前の退院処方における投与薬剂量〔総クロルプロマジン（chrolpromazine : CP）等価換算量、総ビペリデン（biperiden : BP）等価換算量、総ジアゼパム（diazepam : DAP 等価換算量 〕、⑨高用量の抗精神病薬（総 CP 等価換算量 \geq 1000 mg）の投与、⑩高用量の BZD（総 DAP 等価換算量 \geq 10 mgの投与）、⑪1日の服薬回数 $<$ 3回、⑫持効性注射剤（long-acting injection : LAI）の投与、⑬clozapineの投与、⑭入院中の介入（社会生活技能訓練 : SST、入院作業療法）、⑮コメディカル（精神保健福祉士、薬剤師、臨床心理士、栄養士）の関与の有無、⑯退院後の支援（訪問看護、ヘルパー、外来作業療法、デイケア、作業所への通所/就労）〕について、電子カルテの情報をを用いて後方視的に調査する。また、コメディカルの関与についても明細化する。

(4) 利益・不利益に関して

本研究に関し、開示すべき利益相反関係にある企業等はない。

(5) 個人情報保護について

個人情報は個人を特定できないように匿名化番号を用いて管理し、個人と匿名化番号の対応表は厳重に管理する。

(6) 調査結果報告について

学会発表および学術誌に投稿予定とする。

(7) その他

特記事項なし。

(8) 問い合わせ等連絡先

- ・長浜赤十字病院 薬剤部 酒井 要
住所： 〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町 14 番 7 号
電話： 0749-63-2111 FAX： 0749-63-2119